

◆区長の基本姿勢について

問 ①改革ねりま第3章の実現に向けた考えは。②東京都練馬児童相談所が区子ども家庭支援センターと同一施設内に開設。今後の児童相談行政の取組についての考えは。

区長 ①誰もが生き生きと暮らせるまちを創る。②子どもたちの幸せの実現は特別区と都の共同の責務。都児童相談所と力を合わせ全力を尽くす。

◆西武新宿線立並事業について

問 ①野方駅から井荻駅間の連続立体交差化の早期実現を。

②中村橋駅周辺まちづくりにあわせ北側道路の早期整備を。

都市整備 ①早期事業化が必要と認識。引き続き取り組み。②地域の防災性や回遊性向上に資する道路。引き続き早期整備を都に求める。

◆石神井公園駅周辺まちづくりについて

問 ①区の人口は74万人。避難拠点の受け入れ人数の試算は約7万人で、残りの67万人の多くは在宅避難となる。在宅避難生活の準備についてさらなる発信を。②在宅避難には住宅の安全性の確保が不可欠。簡易耐震診断対応のさらなるスピードアップを。

◆震災対策としての在宅避難について

問 ①区の人口は74万人。避難拠点の受け入れ人数の試算は約7万人で、残りの67万人の多くは在宅避難となる。在宅避難生活の準備についてさらなる発信を。②在宅避難には住宅の安全性の確保が不可欠。簡易耐震診断対応のさらなるスピードアップを。

◆危機管理

問 ①区長として攻めの防災の先頭に立ち、万難を排し取り組む決意。危機管理今年度改訂する防災の手引に在宅避難に必要な備蓄品目記載等を充実。7年7月に全戸配布等周知強化。都市整備 ②練馬区建築設計事務所協会に依頼し、診断体制を強化。

◆断水時のトイレ対策について

問 能登半島地震ではトイレ等衛生環境が悪化。在宅避難に必要な携帯トイレの備蓄や

◆石神井庁舎の跡地は土地の有効活用を図り商業の中心地にふさわしい施設整備を。

問 ①石神井庁舎の跡地は土地の有効活用を図り商業の中心地にふさわしい施設整備を。②南口西地区市街地再開発事業の今後の予定と区の認識は。

企画 ①7月に検討会議を設置。整備すべき機能等を検討。活用基本構想策定。都市整備 ②順次解体工事を進めており、

◆区民の命と生活を守る 区政の実現！

練馬区議会自由民主党 小林 みつぐ

9年度末の竣工目指し、今年度中に再開発ビル新築工事に着手。区は引き続き取組支援。

◆練馬城址公園について

問 ①防災備蓄倉庫の整備状況は。防火水槽や応急給水水槽の整備は。②外周道路拡幅を。

◆教育環境の整備について

問 ①災害時避難拠点として運営上課題がある校舎2階体

◆高齢施策

問 ①都制度を活用し、補助対象の拡大や増額等実施。②7月から身近な地域で専門的な相談を受けられるよう、

◆石神井公園駅等のホームドア設置について

問 計画されている区内5駅の今後の予定は。大泉学園駅

◆がん対策について

問 がんは初期段階ではほぼ無症状のため早期発見が重要。がん検診受診率向上の取組は。

◆部活動の地域移行について

問 ①部活動の地域移行について。単独での指導や大会への引率

拡大を。②地域移行後の教員の部活動指導の機会確保を。

◆地域文化

問 現在地での改築を基本とし検討。生涯学習センター1分館は必要な機能の精査

◆病床の確保について

問 上石神井団地建て替えて創出される用地の活用等、区西部地域での病院の整備を。

◆産業経済

問 7月に検討会議を立ち上げ、活用方法を検討。

◆西武新宿線の高架化について

問 今後の事業の流れは。鉄道と交差する道路整備の現在の取組は。

◆土庫

問 関係権利者に補償内容等の説明を行い、用地取得を進める。補助230号線及び武蔵関駅交通広場は3月に事業着手。

◆学校施設について

問 石神井公園駅周辺の児童数は増加が明白。35人学級の実施に向けた教室確保について区の見解は。

◆都内初の児童相談体制で子どもの未来を守れ

練馬区議会公明党 酒井 妙子

①理解促進に取り組み。②計画策定の中で効果的な取組検討。

◆依存症対策について

問 ①リカバリーカルチャーによる講演会等で依存症患者の支援を。②依存症別チェック表の周知を。③不登校の背景

◆更新期障害の対策について

問 ①健康経営の周知強化を。

◆文化施策について

問 ①新美術館は区民から理解が得られるよう、詳細なコ

◆清掃リサイクルについて

問 ①ごみの分別ルールの周知を。②子どもたちの環境教育に体験型学習の導入を。

◆環境

問 ①様々な媒体を活用し、周知啓発に努める。②分別体験等を行う学習等を実施。

◆防災・災害対策について

問 ①夏までに提言をい

◆区長の基本姿勢について

問 ①児童相談体制練馬区モデルに期待。②中高層住宅における震災時の排水設備点検方法等の周知を。③高齢者補聴器購入費用助成拡充を。④eスポーツで世代間交流できる大会実施を。⑤グリス口を地域公共交通計画に盛り込め

⑥学校トイレに生理用品を。

◆区長

①子どもたちの幸せの実現は特別区と都の重要な共同の責務。都練馬児童相談所と力を合わせ全力を尽くす。

◆危機管理

②中高層住宅の防災対策ガイドブックを改訂、全戸配布。福祉 ③都制度を活用、補助対象拡大や増額実施。④交流の輪拡大に向け検討。都市整備 ⑤活用の可能性含め検討。教育長 ⑥設置

◆産業経済

7月に検討会議を立ち上げ、活用方法を検討。

◆西武新宿線の高架化について

今後の事業の流れは。鉄道と交差する道路整備の現在の取組は。

◆土庫

関係権利者に補償内容等の説明を行い、用地取得を進める。補助230号線及び武蔵関駅交通広場は3月に事業着手。補助229号線は3月に事業認可取得。補助135号線は7年度の事業認可取得を目指す。

◆学校施設について

石神井公園駅周辺の児童数は増加が明白。35人学級の実施に向けた教室確保について区の見解は。

◆障がい者差別解消法改正を受け、区の取組は。

②次期地域福祉計画に合理的配慮を位置づけ取組を。③視覚・聴覚障がいの方が楽しめる区内ツアアの企画を。④肢体不自由児の入浴条件の改善を。

◆境界知能について

①5歳児健診実施で早期発見を。②学校現場での理解

◆健康

①取組を検討。②相談や受診のきっかけとなるよう工夫。教育長 ③相談先等の情報提供の充実を検討。

◆環境教育について

①学校施設改築はZEBオリエンテッドを目指せ。②体験学習等通じて環境教育を。教育長 ①環境基本計画に基づき取り組む。②様々な学習機会を設け、環境教育を推進

◆子育て支援について

①二ス調査の結果から見えてきた課題と施策の方向性は。②アタッチメント理論を用いた講習会等実施を。③先行事例を参考にこども誰でも通園制度の導入検討を。

◆健康

①子育てに不安等感じる保護者が増。子育ての私たちを選択できる社会を実現。②講座通じ愛着形成の大切さを伝える等。③第3期子ども子育て支援事業計画で検討。

◆介護保険

①介護保険では第一号被保険者年齢に変更があれば大きな影響があると認識。国の動向注視。高齢施策 ②呼びかけの実施、アラート機能を備えた緊急通報システム導入等。③セミナー等周知し、支援。④研修や面談サービス

◆外来相談窓口の強化を。

①区内事業者対象にセミナー等実施。②引き続き医療機関等と連携し、支援。

◆環境教育について

①学校施設改築はZEBオリエンテッドを目指せ。②体験学習等通じて環境教育を。教育長 ①環境基本計画に基づき取り組む。②様々な学習機会を設け、環境教育を推進

◆子育て支援について

①二ス調査の結果から見えてきた課題と施策の方向性は。②アタッチメント理論を用いた講習会等実施を。③先行事例を参考にこども誰でも通園制度の導入検討を。

◆健康

①取組を検討。②相談や受診のきっかけとなるよう工夫。教育長 ③相談先等の情報提供の充実を検討。

◆環境教育について

①学校施設改築はZEBオリエンテッドを目指せ。②体験学習等通じて環境教育を。教育長 ①環境基本計画に基づき取り組む。②様々な学習機会を設け、環境教育を推進

◆子育て支援について

①子育てに不安等感じる保護者が増。子育ての私たちを選択できる社会を実現。②講座通じ愛着形成の大切さを伝える等。③第3期子ども子育て支援事業計画で検討。

◆介護保険

①介護保険では第一号被保険者年齢に変更があれば大きな影響があると認識。国の動向注視。高齢施策 ②呼びかけの実施、アラート機能を備えた緊急通報システム導入等。③セミナー等周知し、支援。④研修や面談サービス

◆外来相談窓口の強化を。

①区内事業者対象にセミナー等実施。②引き続き医療機関等と連携し、支援。

◆環境教育について

①学校施設改築はZEBオリエンテッドを目指せ。②体験学習等通じて環境教育を。教育長 ①環境基本計画に基づき取り組む。②様々な学習機会を設け、環境教育を推進

◆子育て支援について

①二ス調査の結果から見えてきた課題と施策の方向性は。②アタッチメント理論を用いた講習会等実施を。③先行事例を参考にこども誰でも通園制度の導入検討を。

◆健康

①取組を検討。②相談や受診のきっかけとなるよう工夫。教育長 ③相談先等の情報提供の充実を検討。

◆環境教育について

①学校施設改築はZEBオリエンテッドを目指せ。②体験学習等通じて環境教育を。教育長 ①環境基本計画に基づき取り組む。②様々な学習機会を設け、環境教育を推進

◆子育て支援について

①子育てに不安等感じる保護者が増。子育ての私たちを選択できる社会を実現。②講座通じ愛着形成の大切さを伝える等。③第3期子ども子育て支援事業計画で検討。

◆介護保険

①介護保険では第一号被保険者年齢に変更があれば大きな影響があると認識。国の動向注視。高齢施策 ②呼びかけの実施、アラート機能を備えた緊急通報システム導入等。③セミナー等周知し、支援。④研修や面談サービス

一般質問(要約)

災害時のトイレ対策とがん対策等の強化を！

練馬区議会自由民主党 かわすみ 雅彦

の受診券を一つの封筒にまとめて発送。同時受診できる医療機関の充実に取り組み。

◆認知症施策と補聴器の購入補助について

①加齢性難聴への補聴器購入補助事業拡充の考えは。

②認知症は継続的な支援が重要。家族に寄り添う伴走型支援が求められるが区の所見は。

③石神井観光案内所について

地方自治法改正の注視と地方分権の姿勢を！

練馬区議会立憲民主党 白石 けい子

①国の経済対策の動向を注視しながら、区民生活を守る上で必要な施策を執行する。福祉 ②6月にコールセンターを開設。7月下旬から支給開始予定。総務 ③引き続き、国会審議の動向等を注視。④都制度に加え、二重

◆教育環境について

①区性暴力等防止特別対策委員会が議論された対策は。日本版DBSとの整合性は。

②校庭や園庭は日々の安全面から定期的なチェック体制を。教育長 ①夏までに提言をい

ただく予定。日本版DBSの影響は。②高齢者の熱中症

都内初の児童相談体制で子どもの未来を守れ

練馬区議会公明党 酒井 妙子

①理解促進に取り組み。②計画策定の中で効果的な取組検討。産業経済 ③今後検討。福祉 ④心障センターの改修に合わせ拡大等検討。

◆依存症対策について

①リカバリーカルチャーによる講演会等で依存症患者の支援を。②依存症別チェック表の周知を。③不登校の背景

◆更新期障害の対策について

①健康経営の周知強化を。

◆文化施策について

①新美術館は区民から理解が得られるよう、詳細なコ

◆清掃リサイクルについて

①ごみの分別ルールの周知を。②子どもたちの環境教育に体験型学習の導入を。

◆環境

①様々な媒体を活用し、周知啓発に努める。②分別体験等を行う学習等を実施。

※1 オーバードーズ：風邪や咳の症状を抑えるためではなく、感覚や気持ちに変化を起すために、医薬品を決められた量を超えてたくさん飲んでしまつてのこと。

※2 地域生活支援拠点：地域の障害者に対する相談や緊急時の受入れ・対応等を行う支援拠点。居住支援機能(相談、緊急時の受入れ・対応、体験の機会・場の提供)や地域の体制づくり等をグループホーム等と一体的に行つ「多機能型」と、地域における複数の機能が機能分担する「面的整備型」がある。

※3 レスバイトケア：介護にあたる家族が一時的に介護から解放され、休息を取れるようにする支援のこと。

◆生活保護について

問 ①物価高に見合う保護基準に引き上げるよう国に求めよ。②生活保護の申請は国民の権利と周知し、理解を促せよ。③国に扶養照会廃止を求めよ。④区でフードパントリーを実施し、さらなる支援を。

◆保育園の待機児と2歳1年保育について

問 ①今年度保育園等に入園できなかった者は57人。緊急対策である1年保育の子どもを待機児童としてカウントし、実態に見合った施設の整備を求めよ。②指導検査での文書指摘はほぼ改善済みとされているが、再度訪問し確認せよ。

◆区長の基本姿勢について

問 ①能登半島地震を受けて災害復旧復興対策に向けた考えは。②災害時にSNSで発生する悪質デマ情報の対策は。副区長 ①改めて国・都による対口支援の受入れや協定団体との連携等平時からの受援体制構築が重要と実感。災害対応力のさらなる強化に取り組む。危機管理 ②全面改訂する防災の手引やSNS等様々な機会を活用し周知啓発。

◆熱中症対策について

問 ①熱中症予防行動定着のための周知啓発を。②行事の中止等ルールを策定し、事業者や関係団体等と連携して対応することが必須。考えは。③特別警戒アラート発表時のクーリングシエルトの開放は24時間体制であることが求められ、民間の協力が必要と考える。区内全域をカバーで

◆教育長

①待機児童数の算定は国基準に則り実施。今後の保育需要を適切に算定し、待機児童ゼロの継続に取り組む。②指摘の多くは勤務シフトの考え方等に対する理解不足によるもの。必要に応じて再度現地で検査している。

◆こども

①訪問介護費引下げ撤回と再改定を国に求めよ。②介護職の国庫負担の賃上げと制度改善の中止を国に求めよ。高年齢施策 ①介護報酬の引上

◆オーバードーズについて

問 ①正しい知識や専門機関へ相談することの重要性を伝える取り組みを。②スクールソーシャルワーカー等との連携や職員研修等、体制強化を。保健所 ①東京都薬物乱用防止推進練馬区地区協議会に薬剤師会のメンバーを加え、対策の検討を開始。教育振興 ②生活指導教員への研修実施。

◆区長

①②③予防行動への働きかけを強化。リスクの高い方には個別訪問等により呼びかけを実施等。88か所の区立施設と66か所の薬局を「クーリングスポット」に指定する等、熱中症の危険から区民の生命と健康を守るため、引き

小中学校トイレへの生理用品の配置をのむり説

日本共産党練馬区議団

問 ①正しい知識や専門機関へ相談することの重要性を伝える取り組みを。②スクールソーシャルワーカー等との連携や職員研修等、体制強化を。保健所 ①東京都薬物乱用防止推進練馬区地区協議会に薬剤師会のメンバーを加え、対策の検討を開始。教育振興 ②生活指導教員への研修実施。

◆生理用品と包括的性教育について

問 ①生理用品を社会的インフラとして位置づけ、速やかに学校トイレに配置せよ。②業者や農家のニーズに合わせ、障害者との就労や作業のマッチング強化を。②障害者が安心して働き、事業者も安心して仕事を依頼できる環境構築のため双方のサポート強化を。

◆福祉

①交流会を実施し、収穫を就労支援事業所が行う等の取組につなげた。②レイン

批判や対決ではなく課題の解決にむけて提案

練馬区議会未来会議 都民ファーストの会・国民民主党 石黒 たつお

問 ①熱中症予防行動定着のための周知啓発を。②行事の中止等ルールを策定し、事業者や関係団体等と連携して対応することが必須。考えは。③特別警戒アラート発表時のクーリングシエルトの開放は24時間体制であることが求められ、民間の協力が必要と考える。区内全域をカバーで

◆障害者雇用について

問 ①障害者を雇うに際しては、障害者雇用促進法の改正を受け、空き家活用により一層の強化について区は。②空き家発生予防のため、地域包括支援センターで早い段階での高齢者への対策強化を。環境 ①区と協定を結んだ専

◆災害対策について

問 ①区も防災DXを活用し、情報収集や迅速な生活再建支援を。②日頃から避難所等の安否確認・相談体制を整備。福祉 有料老人ホーム等との協定締結の協議を進める。

◆食育推進について

問 ①給食残渣についてCO2削減につながる見える化を行い、児童生徒の行動変容を。

◆食育推進について

問 ①給食残渣の量を記録し共有する取組をより多くの学校で実施できるように働きかけ。②職務内容の周知や事務負担の軽減検討等働きかけ。

◆富士見台特養の跡活用と敬老館の機能転換について

問 ①跡活用は、はつらつせ

一般質問(要約)

◆都市農業について

問 ①農業者へ農地賃借制度を丁寧に説明し農地保全につなげよ。②気軽に都市農業を体験できるベジかるファーム実施農園の拡充を。③全国都市農業フェスティバルは終日

◆外国人に開かれた地域づくりに

問 ①相談窓口体制の充実を。②家族で在住する子どもが安心して住めるよう、日本語教室の展開は。③外国人介護人材受入れの観点から、介護福祉士資格取得に向けた外国人向け日本語能力向上の支援を。

◆地域文化

①多言語翻訳機を活用、オンライン通訳導入等。②講座の定員拡充、指導者を増員等。高年齢施策 ③7年開設の介護福祉士養成施設と連携、ニーズに応じた研修検討。

◆都市農業について

問 ①農業者へ農地賃借制度を丁寧に説明し農地保全につなげよ。②気軽に都市農業を体験できるベジかるファーム実施農園の拡充を。③全国都市農業フェスティバルは終日

◆外国人に開かれた地域づくりに

問 ①相談窓口体制の充実を。②家族で在住する子どもが安心して住めるよう、日本語教室の展開は。③外国人介護人材受入れの観点から、介護福祉士資格取得に向けた外国人向け日本語能力向上の支援を。

◆地域文化

①多言語翻訳機を活用、オンライン通訳導入等。②講座の定員拡充、指導者を増員等。高年齢施策 ③7年開設の介護福祉士養成施設と連携、ニーズに応じた研修検討。

◆食育推進について

問 ①給食残渣の量を記録し共有する取組をより多くの学校で実施できるように働きかけ。②職務内容の周知や事務負担の軽減検討等働きかけ。

◆富士見台特養の跡活用と敬老館の機能転換について

問 ①跡活用は、はつらつせ

◆都市農業について

問 ①農業者へ農地賃借制度を丁寧に説明し農地保全につなげよ。②気軽に都市農業を体験できるベジかるファーム実施農園の拡充を。③全国都市農業フェスティバルは終日

◆外国人に開かれた地域づくりに

問 ①相談窓口体制の充実を。②家族で在住する子どもが安心して住めるよう、日本語教室の展開は。③外国人介護人材受入れの観点から、介護福祉士資格取得に向けた外国人向け日本語能力向上の支援を。

◆地域文化

①多言語翻訳機を活用、オンライン通訳導入等。②講座の定員拡充、指導者を増員等。高年齢施策 ③7年開設の介護福祉士養成施設と連携、ニーズに応じた研修検討。

◆食育推進について

問 ①給食残渣の量を記録し共有する取組をより多くの学校で実施できるように働きかけ。②職務内容の周知や事務負担の軽減検討等働きかけ。

◆富士見台特養の跡活用と敬老館の機能転換について

問 ①跡活用は、はつらつせ

◆都市農業について

問 ①農業者へ農地賃借制度を丁寧に説明し農地保全につなげよ。②気軽に都市農業を体験できるベジかるファーム実施農園の拡充を。③全国都市農業フェスティバルは終日

◆外国人に開かれた地域づくりに

問 ①相談窓口体制の充実を。②家族で在住する子どもが安心して住めるよう、日本語教室の展開は。③外国人介護人材受入れの観点から、介護福祉士資格取得に向けた外国人向け日本語能力向上の支援を。

◆地域文化

①多言語翻訳機を活用、オンライン通訳導入等。②講座の定員拡充、指導者を増員等。高年齢施策 ③7年開設の介護福祉士養成施設と連携、ニーズに応じた研修検討。

◆食育推進について

問 ①給食残渣の量を記録し共有する取組をより多くの学校で実施できるように働きかけ。②職務内容の周知や事務負担の軽減検討等働きかけ。

◆富士見台特養の跡活用と敬老館の機能転換について

問 ①跡活用は、はつらつせ

◆都市農業について

問 ①農業者へ農地賃借制度を丁寧に説明し農地保全につなげよ。②気軽に都市農業を体験できるベジかるファーム実施農園の拡充を。③全国都市農業フェスティバルは終日

過去の教訓を活かした対策・体制の強化を！

練馬区議会自由民主党 笠原 とせこ

問 ①密集事業実施地区等の耐震化助成を評価。今後の取組は。②富士見台駅南側地区公園予定地は防災及び地域コミュニティの場として、駅北口広場予定地は利便性向上に資する広場として早期整備を。

◆富士見台特養の跡活用と敬老館の機能転換について

問 ①跡活用は、はつらつせ

◆都市農業について

問 ①農業者へ農地賃借制度を丁寧に説明し農地保全につなげよ。②気軽に都市農業を体験できるベジかるファーム実施農園の拡充を。③全国都市農業フェスティバルは終日

◆外国人に開かれた地域づくりに

問 ①相談窓口体制の充実を。②家族で在住する子どもが安心して住めるよう、日本語教室の展開は。③外国人介護人材受入れの観点から、介護福祉士資格取得に向けた外国人向け日本語能力向上の支援を。

◆地域文化

①多言語翻訳機を活用、オンライン通訳導入等。②講座の定員拡充、指導者を増員等。高年齢施策 ③7年開設の介護福祉士養成施設と連携、ニーズに応じた研修検討。

◆食育推進について

問 ①給食残渣の量を記録し共有する取組をより多くの学校で実施できるように働きかけ。②職務内容の周知や事務負担の軽減検討等働きかけ。

孤独・孤立対策強化で高齢者の安全安心を！

練馬区議会公明党 佐藤 じゅんや

問 ①休日・夜間等でも相談できる体制整備を。②参加しやすいイベント開催等、男性高齢者の居場所の対策強化を。高年齢施策 ①地域包括支援センターで24時間365日、電話対応できる体制を整備している。事業等の実施を検討。男女共同参画センター等で高齢者にも人気の高い健康講座等のプログラムを充実。支援。②都の動向を注視。

◆歯科健診の促進について

問 ①成人歯科健診の受診勧奨を。②20代、30代対象の健診導入を。③妊婦歯科健診に加え、プレバ・パバへの健診の導入を。両親が口腔内環境を整える重要性の周知を。

◆健康

①SNSの発信を増やす等。さらなる受診率向上に取り組み。②検討。③赤ちゃん準備教室等の機会を捉え、保護者に歯科健診受診を勧奨。

◆若年期の支援について

問 ①若年層が利用できる行政支援策は少ない。つながらやすい女性支援を。男性向けの窓口開設を。②都の結婚支援ポータルサイト等の周知を。

◆総務

①関係機関等と連携し、支援調整機能の強化や居場所事業等の実施を検討。男女共同参画センター等で高齢者にも人気の高い健康講座等のプログラムを充実。支援。②都の動向を注視。

◆ユニバーサルデザインの遊具について

問 ①区内の児童生徒全員が遊べるよう、区内ユニバーサルデザイン遊具の導入を。②公園等の整備の際には、ユニバーサルデザインの遊具設置を。設置後は誰もが利用しやすい公園の運営を。

アドバンス・ケア・プランニング:もしもの時のために、医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと。

◆身寄りのない人への支援について

問 ①区の単身者が人口の約24%を占める中、身寄りのない人への生活・医療、最期を迎えるまでの支援が必要。生活サポートセンター、地域包括支援センターでの支援の実態と課題は。福祉事務所の支援内容と課題は。②身元保証の会社が増えているが、制度的位置づけはなく、消費者トラブルも起きている。身元保証事業への区の見解は。③持続可能な権利擁護支援モデル事業への区の考え方は。④ケアマネ等第三者が医療同意を求められる実態をどう捉えるか。⑤遺体の安置や遺品の管理等課題は。明確なルール策定を国に求めるべきでは。⑥介護・福祉施設、地域包括支援センターでの救急時の状況は。実態を把握し支援を。

新たに顕在化する生活の課題へのとりくみをインクルーシブな練馬をめざす云 かつらぎ 桜子



事業の検証も参考に区の取組を検討。④アドバンス・ケア・プランニングの周知と実践が必要。⑤法に統一の規定がない。早急な制度整備を既に国に要望。⑥同行要請が増。既往歴等まとめた情報シート活用、同行なく適切に搬送が行えるよう取り組む。

◆介護について 等、安全に配慮。
◆公共交通について **問** ①バス運転手不足により区民への影響が出ている状況をどう考えるか。従来の枠に捉われない運転手確保策を検討せよ。②バス運転手の処遇改善のための財政的措置を国に求めよ。③新たな地域公共

◆練馬区立美術館・貫井図書館再整備について

問 ①公表された基本設計では、サンライフの代替とされる多目的室等の面積は区民の要望どおりではない。諸室諸元表の面積は守らせるべきでは。②階段状のひさしが多用され、そのしわ寄せで図書館が多層階に分かれる等、区民の望まない設計となっているのでは。③ガラスを使った建物は災害時にリスク。安全性の担保は。④基本設計は関係

住民合意もない美術館再整備計画は中止を。 小松 あゆみ



交通計画はみどりバス30分に1便運行計画を引き継ぐのか。
◆都市整備 ①バス交通を維持・改善する上で運転手確保は大きな課題。バス事業者に対し、運転手確保に関する実態調査を実施。今後、区と事業者が連携・協力した取組を検討。②考えはない。③30分1便を含め従来の計画を検証し、

◆施設管理 ③法令基準よりも地震力を割増しして設計する

◆男女共同参画について

問 ①ケアマネの多岐にわたる業務の実態をどのように把握しているか。見解は。②区はケアマネの人材育成・確保についてどう取り組むか。③ヤングケアラー当事者が18歳以上になった時の支援の継続は。④ヤングケアラーコーディネーターの選定基準と資質

研修に参加等取り組んでいる。
◆高齢施策 ①定期的に意見交換。国がケアマネの役割や業務範囲等を検討中。区は動向を注視。②今年度から資格取得費用助成を開始し、研修等実施。③福祉事務所等と連携、切れ目ない支援を実施。④福祉や保健等の専門職の区職員を配置。都実施の

新たな計画を策定。
◆コロナ後遺症で苦しむ区民への支援について **問** ①後遺症の発症や重症化を防ぐため、臨床現場の知見等の周知を。②後遺症に特化した救済制度を国に求め、区も支援せよ。

◆保健所 ①区として、特定の治療法を推奨する考えはない。国の動向を注視。②既に様々な制度がある。考えはない。
◆子どもの権利条例について **問** ①子どもの権利条例を制定し、オンブズマン制度を設けるべき。②共同親権を認める改正民法を施行しないよう、国に求めよ。

一般質問(要約)

もの意見を施策や事業に反映しているため、考えはない。
◆特別支援教育と適正配置について **問** ①情緒障がいや知的障がい学級の教員配置基準等の見直しを都に求めよ。②特別支援学級の設置校を増やせ。③特別支援教室の教員のサポート体制の強化を。④校舎へのエレベーター設置の検討を。

◆教育振興 ①教員定数の改善について特別区教育長会を通じて既に都に要望。②特別支援学級の増設等について新たな方針の中で示す考え。③今後もサポート人材配置の充実に取り組む。④改築の際エレベーターを設置。既存校舎は耐震強度の影響等があり困難。

◆地方自治法「改正」について

問 包括的・一般的な「指示権」の創設は国の関与の法定原則に反し、地方自治の本旨や地方分権改革の精神を危うくする。区長の認識は。

◆企画 本来国の指示がなされる事態はあらかじめ個別法において想定し、必要な規定を設けることが原則だが、想定外の事態に万全を期す観点から、区としても法改正は必要と認識。国会審議の動向注視。
◆石神井公園駅南口再開発について **問** 区の総合設計許可基準やまちづくり条例において、風の影響の評価や、講ずべき対策を位置づける検討をすべき。

◆都市整備 立地環境等個々の状況に応じた対策必要。一律

な対策を義務付ける考えはない。
◆大江戸線延伸について **問** ①既定の補助スキーム以外に一般財源投入を都に求めるべき。②延伸地域農地が55%も減少。宅地化と農地保全が両立していると言えるのか。議論の過程で協議、区の果た

再びの再質問について 抗議する 池尻 成一



つながる市民・練馬
すべき役割を判断する。②利便性が向上、人口増が見込まれる。地産地消のニーズが高まり、農家の経営基盤安定に寄与。農地保全にもつながる。
◆自治と公共の再生について **問** ①介護保険施設等だけでなく福祉園や福祉作業所、保育園等、区立施設は順次廃止していく方針か。②地域移行

をうたうにもかかわらず障害者の施設入所が増え続けている実態をどう考えるか。③生活保護受給者のうち区外・都外の施設等で暮らしている人数は。④なぜ区内で暮らし続けることができなかったのか。管理計画に基づき施設配置の

最適化を進める。福祉 ②障害者の重度化と高齢化、家族の高齢化が主な要因と考える。③4月1日時点で区外1185名。都外555名。④様々な課題を抱える被保護者本人の意思を確認した上で、区内外の施設等へつないでいる。
◆美術館再整備計画について **問** ①基本設計におけるシエ

ード部分の容積率算定対象面積は。②シエードに建蔽・容積の大きな部分を割かれ、来館者の利便性やバリアフリー対策に様々な制約。この独特な構造は今後、建築費高騰の大きな要因に。無理を重ねず再整備計画を白紙に戻すべき。
◆地域文化 ①721㎡。②シエードは美術品等を日差しから保護する効果。まちと施設をつなぎ、施設の特徴的な魅力となる。バリアフリーや利便性も考慮している。誰もが文化芸術を楽しめる新たな拠点として、再整備を推進する。
◆都知事選出馬要請について **問** 小池百合子氏への都知事選出馬要請は公職の立場を利用したものとの疑念。要請することとなった経緯、趣旨は。区長 今回の出馬要請は政治に携わる者として、自らの政治信念に基づいて行ったもの。

練馬区議会議員表彰
区政の伸展に多大な貢献をしたことにより、区長から、議員在職通算10年の表彰を受けました。
(令和6年6月14日)



田中よしゆき議員

政治家は贈らない 有権者は求めない

●政治家からの寄附は禁止

政治家が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは、時期や理由を問わず法律で禁止されています。※ただし、行事等の開催通知に会費の金額が明記されている場合は除きます。

●政治家に対する寄附の要求も禁止

有権者が政治家に対して寄附を出すよう勧誘・要求することも禁止されています。※ただし、行事等の会費を求める場合は除きます。

●時候のあいさつ状を出すことは禁止

政治家が時候のあいさつ状を出すことは、答礼のための自筆によるものを除き禁止されています。

定例会の開催予定

次回の定例会は、9月6日(金)から開催する予定です。

本会議、各委員会の開催日時や傍聴等については、お問い合わせください。詳細な日程は、開催の1週間前を目途にホームページに掲載します。手話通訳をご希望の方は、事前にお申し出ください。